

シャコガイ種苗生産事業

(2012年におけるヒレジャコの採卵および種苗生産結果と配付)

井上 顕*

この事業は、養殖用のシャコガイ類の種苗を量産して漁業者等に安定した種苗配付を行い、計画的な養殖生産に資することを目的とする。

親貝は、生産年度が不明な個体（以下、生産貝）と八重山海域の天然個体（以下、八重山貝）の2種類を用い、産卵誘発と採卵を行った。産卵誘発は3月11日、4月4日、4月23日、4月25日、5月1日、5月23日、計6回行い、3回採卵した(表1)。5月23日の採卵で孵化率2%だった幼生は収容を行わなかった。その原因は不明であった。

種苗生産の結果を表2に示した。共生成立率の平均は3.6%、稚貝が共生成立後から殻長1mmに成長するまでの生残率は24.7%だった。飼育1回次と2回次は、屋内水槽で飼育し、良好な成績を記録した。飼育3回次は低調であった。近年もっとも良好な回次は、5月下旬、梅雨明け後の強く安定した光量で屋外止水飼育を行った場合であった。今回の3回次で行った屋外飼育は例年であれば良好な成績が期待できたが、長雨の影響で共生成立率が悪く、それがその後の飼育に影響し、低調な成績となったと考えられた。

中間育成は、種苗生産の好調を維持した。そのため生産調整として種苗を廃棄し、その数は推定391,831個だった。平成24年度に採卵し中間育成を経て年度内に出荷した稚貝数は89,100個体であった（表3）。

表1 試験開始時の収容状況

採卵回次	月日	採卵数 (万粒)	ふ化率 (%)	母貝の履歴	媒精個体の履歴
1	4/4	2,453	94%	天然貝	天然貝
2	5/1	4,043 1,348	77% 117%	生産貝 天然貝	天然貝 天然貝
3	5/23	10,575 14,075	96% 2%	天然貝 天然貝	天然貝 天然貝
計		32,494			

表3 ヒレジャコの配付実績

出荷日	組織名 漁協	個数	殻長平均	用途	出荷重量(g)	最小	最大
2012/10/23	八重山	20,000	18.89	養殖	8,800	10.69	18.33
2012/10/24	八重山	1,000	15.38	養殖	484	10.69	18.33
2012/10/26	八重山	2,000	18.89	養殖	777	9.37	15.35
2012/10/26	八重山	30,000	12.29	養殖	10,440	9.72	17.1
2012/10/30	八重山	5,000	13.81	養殖		11.69	15.63
2012/11/7	八重山	20,000	11.79	養殖	76,000	10.1	16.2
2012/12/10	八重山	1,100	15.92	試験	559		
2012/12/14	八重山	10,000	12.86	養殖	4,485	11.38	15.83
小計	養殖	88,000	15.0		101,544		16.7
	試験	1,100	15.92				
総計		89,100			101,544		

表2 2012年ヒレジャコの種苗生産状況

飼育回次	収容 幼生数 (万粒)	共生成立個体			殻長1mm個体				備考
		生残数 (万個体)	成立率 (%)	到達日令	生残数 (万個体)	生残率 (%)	到達日令	成立後からの生残率	
1	2,627	192.8	7.3	21~28	60.5	2.30	51~63	31.38	共生成立後順調
2	4,532	257.9	5.7	27	64.4	1.42	56~61	25.0	共生成立後順調
3	4,170	62.4	1.5	21	11.1	0.26	55~63	17.7	長雨で屋外飼育が不調
計	11,329	513	3.6		136	1.20		24.7	

* Email:inoueken@pref.okinawa.lg.jp